

Estuary 060



エスチユアリ

いしかり砂丘の風資料館だより

☆エスチユアリ…「河口」の意味。北海道一の大河、石狩川と日本海とが出会う場所、それが石狩です。

展示資料のひみつ

「棟札」というものを見たことがあるでしょうか。

棟札は建築物の再建・修理の上棟式において、工事の由緒や建築の年月日、建築者・工匠の名等を記し棟木に打ち付けられた札のことです。一般的には薄く細長い板状で、頭部が山形となっており、古くは棟や梁などに直接記していたものを起源として現在の形になったとされます。前述した建築に関わる情報の他、守護神の名や、呪文が記載されるものも多く見られます。

今回紹介する棟札は安瀬神社の遷宮時の棟札です。

安瀬神社は1830（天保元）年の創立から1912（明治45）の合祀（神社の祭神を別の神社で合わせて祀るようになること）まで旧安瀬村（現厚田区安瀬）に存在した神社で、合祀後も地元では未公認の神社として親しまれていました。

棟札の表面中央には「奉齋鎮守稻荷神社宮殿一字修宮遷宮祭典壘」、左上部には「維時明治十二歳九月五日」、そして下部には「建立當安瀬村中村総代吉津要蔵、佐藤長左工門」「大工棟梁新沼幸吉、長岡藤蔵」とあります。

安瀬神社の祭神は保食神（≒稻荷神）ですから、これは「安瀬神社の社殿一棟修繕（改修）しました」という意味になります。そしてその修繕（あるいはその祭典）の年月日と関わった村の代表者・大工棟梁について記録してあるのです。

安瀬神社が合祀されてから長い時間が経っているため、この修繕についての公的な記録が石狩市内には残されていない中、この棟札が唯一の情報と言えるでしょう。

（次ページへ→）



表面(■は解読不明箇所)

天都宮 ■
故事以弓 今上聖天皇寶 ■無窮 四海 ■平 漁業満足 村中繁盛
矢廼御蔭 御代長久 海上安全 諸 ■聖除

奉齋鎮守稻荷神社宮殿 一字修宮遷宮祭典壘

日廼御蔭 開拓長官正四位黒田清隆 神道事務長
此神座 廼本廳執政 札 権大書記官鈴木大亮 大講義大貫眞浦
鎮女奉 ■ 維時明治十二歳九月五日

祝詞
祠官諏訪祀修再拜
建立當安瀬村中
村総代 吉津要蔵
同 佐藤長左工門
大工棟梁 新沼幸吉
同 長岡藤蔵

■旧安瀬神社 棟札

所在地：北海道石狩市厚田区安瀬9番地3

寄贈年：2017（平成29）年

縦 94.4cm

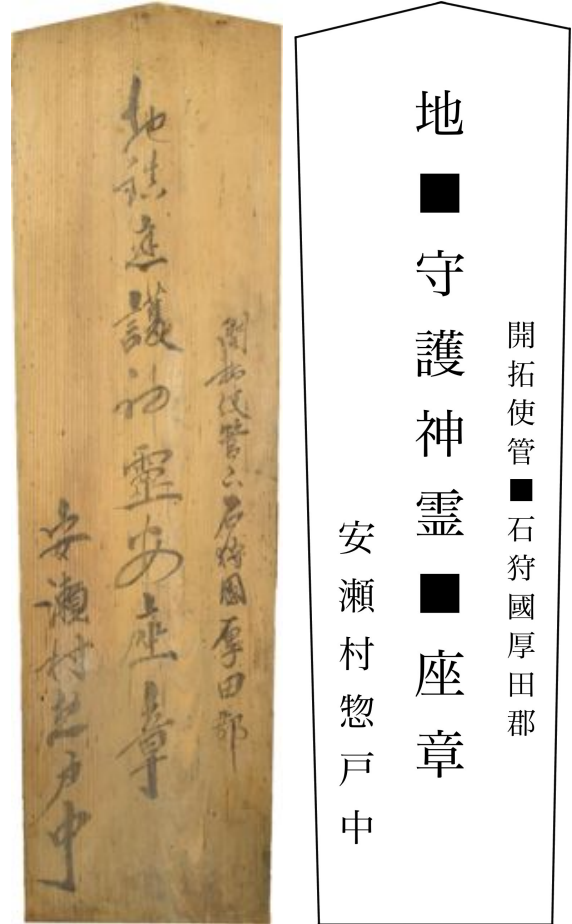
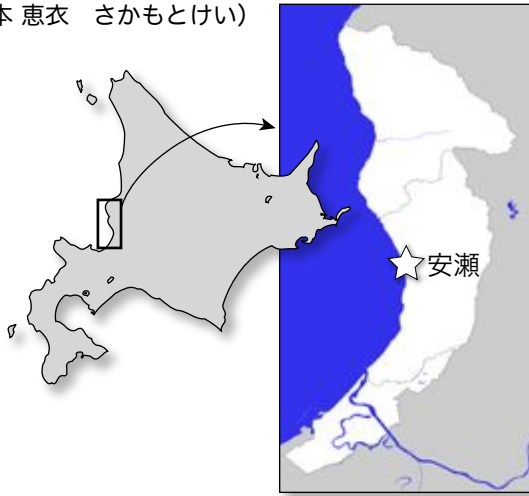
横 29.3cm

厚さ 1.1cm

ア この棟札ですが、寺社や由緒ある建物、いわゆる「歴史的建造物」と言われるような建物にしか関係ないと思われるかもしれませんが、実際は一般の家庭にも関係深いものです。最近では建築の工法が変わり、地鎮祭を行っても、上棟式は行わないことも増えたようですが、個人の家の場合も上棟式の際にはこの棟札が扱われます。

記載事項は各人によって様々ですが、建築年代だけではなく、当時どのような祭神（守護神）を祀っていたのかなども知ることができるかもしれません。もし目にする機会があればどのようなことが書かれているのか、ぜひ見てみてはいかがでしょうか。◆

（坂本 恵衣 さかもとけい）



裏面(■は解読不明箇所)

地 ■ 守護神霊 ■ 座章

開拓使管 ■ 石狩國厚田郡

安瀬村惣戸中

寿命を縮める“青い光”？

「パソコンやスマートフォンの画面から出る“ブルーライト”は、私たちの目や脳にダメージを与えます。」…一日中スマートフォンに釘付けの現代人に対する文句が脅しとして最近よく使われるようになったフレーズです。“ブルーライト”とは、青色の可視光（目に見える光）のことを指す言葉ですが、このただの青色の光が、生物に一体どんな影響を与えるというのでしょうか。

オレゴン州立大学で、次のような実験が行われました。ハエをたくさん用意し、「1日中暗闇で過ごすハエ」「半日青色のLEDライトを当て、残り半日は暗闇で過ごすハエ」「普通のライトから青色の波長を除いた光に当てるハエ」のグループに分け、それぞれの変化を調べました。すると、青色LEDに当てたグループは、他のグループに比べて脳細胞や網膜にダメージを受けており、運動機能（壁を登る力）も弱くなっていたというのです。しかも、生まれつき目が無いハエに同様の実験を行って

も、やはり青色LEDに当てると脳や運動機能にダメージを受けていました。

また東北大学では、ショウジョウバエのサナギに様々な色のLEDライトを当て、羽化するかどうか調べるという実験が行なわれました。その結果、青色（467nm）の光を当てたサナギは、9割以上が羽化できずに死んでしまいました。これは、紫外線（378nm）を当てた時の死亡率（約4割）よりもずっと高い数値です。

では、やはり青い光は私たち人間にとっても有害なののでしょうか。答えは「まだわからない」です。なぜなら、パソコンやスマートフォンが使われ始めた歴史はそんなに長くないから。100年後の未来で、私たちは「人間を青色LEDに当てつづけるとどうなるか実験」の第1号になっているかもしれませんね。◆

（堂前 愛 どうまえまな）



umibeography 石狩ウミベ図鑑

石狩の海辺で見られる物や現象を
毎回1つ取り上げ、紹介していきます。

E005

カタクチイワシ超大量漂着 (片口鰯超大量漂着) *Engraulis japonicus* Temminck and Schlegel, 1846

動物界/脊索動物門/条鰭綱/ニシン目/カタクチイワシ科

採集日：20220309 (09 Mar. 2022)

採集地：石狩浜 (北海道石狩市)

座標：43.243586N,141.343964E

一般情報：

成魚で体長10~15cm前後。腹面は銀白色、背面は青色。太平洋西部、サハリン南部から台湾近海に分布し、沿岸域の表層で大群をつくる。煮干し、シラス干しなどに利用する。

石狩情報：

石狩浜では夏から秋にかけて、群れをなす魚影が波打際からでも見られる。年によっては大群が回遊しているのが見えたり、大量漂着することがある。今回は、おそらく数日間に渡って大量漂着が続き、汀線長1mあたり



の漂着数は約100-200個体を超えていた。このことから、実際に現地を観察した500m区間では、数万~10万個体程度が漂着したと見積もられる。今回の超大量漂着は、同時に石狩市の厚田区や小樽市銭函など他地域でも確認されており、空間スケールとしては少なくとも数十kmを超える広域の現象だと考えられる。◆

レア度：★★★★★ (※超大量漂着としてのレア度。)

(志賀 健司 しがけんじ)

★資料館と新型コロナと千頭クマ★

2020年が明けて名前とともに感染が広がっていった新型コロナウイルス。次から次へと変異していく厄介者に、悪霊退散のアマビエの登場やワクチン接種に治療薬、早く、真打登場となって欲しいものです。



出番を待つ折紙クマたち。ただいま385頭。

資料館も何回かの緊急事態宣言による休館がありましたが、基本的な対策を行い、お客様を迎えています。ただ、人気の缶詰製作はまだ出来ないのがガッカリされることもあります。

来館記念に差し上げていた折紙の“サケをくわえるクマ”も停止中。今までなかなか数を用意できないため個人客限定でした。そこで、再開できる日と団体の方にも差し上げられるようにと念じながら、千羽鶴ならぬ千頭クマ(クマとサケとで1セットなので2000枚)を折っています。

この先、私たちの生活がウィズコロナとなるのが、アマビエが勝ちコロナ退散となるのが、いずれにせよ、1000クマ折りあげると競争です。◆

(倉 雅子 くらまさこ)

お知らせ

資料館は開館しています！が…

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
当面の間、**展示の公開・利用の一部を制限**させていただいています。
ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- ・ハンズオン展示（さわれる展示）を休んでいます。
- ・図書閲覧、資料配布を休んでいます。
- ・「手作り缶詰工場」（開拓使のサケ缶レプリカづくり）を休んでいます。
- ・館内のイスの数を減らし、間隔を空けています。
- ・大人数の団体での入館はご遠慮いただいています。

5月から再開します！

ご来館の際は、感染拡大防止のために下記のとおりお願いいたします。

- ・発熱など体調不良のある方は、入館はご遠慮ください。
- ・入館時には、消毒液による手指消毒にご協力ください。
- ・マスクの着用、“咳エチケット”の遵守にご協力ください。
- ・館内では、床のサイン（2m間隔）を目安にして、入館者同士の距離を保つようお願いします。

テーマ展

今日のオカズを標本に。

おうちミュージアム石狩コンテンツ



煮干しやホタテ、フライドチキン。
食卓のオカズには、いろいろな生物標本の素材があります。その作り方や見本を紹介し、家に帰って、作ってみよう！

館内でも耳石標本づくり体験ができますよ。

■期間 4月29日(金・祝)～6月26日(日)

※5/3(火)は開館、5/6(金)は休館です。

■場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料が必要です。
(大人300円)



4月
開始

野外講座

石狩ビーチコーマーズ 春の海辺の漂着物



冬の間にとまった漂着物や、川から
流れてきた漂着物を観察・採集して、正体や起源を考えます。

■日時 4月17日(日) 09:00～13:00

■場所 石狩浜(集合：資料館)

■対象 小学4年生～大人(小学生は保護者同伴)

■定員 20人(先着順) ■参加料 無料

■申込 4/1(金)～4/15(金)の間に電話で
資料館へ(0133-62-3711)

4月
開催

■石狩市広報に連載「いしかり博物誌」

☞第178回：アイヌ民族のサケ漁と星座(2022年3月号)

☞第179回：沖縄から箱いっぱい軽石(2022年5月号)

石狩市役所のwebから読めます↓(バックナンバーもあり)

<https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/hisyokoho/48874.html>

編集後記

テーマ展の隅に「学芸員に聞いてみよう！この展示を作った学芸員は今日は館内にいます」というPOPを出しています。別に目立ちたいわけじゃなく、少しでも博物館の役割、学芸員の仕事に気づいてほしいから。来館したら、ぜひ声をかけてくださいね。(けん)

いしかり砂丘の風資料館

開館時間 午前9時30分～午後5時00分
休館日 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
入館料 大人：300円、中学生以下：無料
団体料金240円(15名以上)
交通 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、
「石狩温泉」下車、徒歩1分
(石狩温泉「番屋の湯」となり)

エスチユアリ No.60



2022年3月31日発行

いしかり砂丘の風資料館
〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4
TEL/FAX: 0133-62-3711
bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp
<https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/>